



TEAMWORKS

世界基準のチーム運営プラットフォーム「Teamworks」ついに日本本格始動。

MLB・プレミアリーグのトップチームが導入するスポーツ組織統括システム「Teamworks」が日本本格上陸！50名限定のローンチイベントを東京で開催

世界中のトップリーグで圧倒的シェアを誇るスポーツ運営テクノロジーが、日本国内のプロスポーツのDX加速に向けて本格始動。

東京で50名以上のスポーツ専門家が参加する記念イベントを開催。侍ジャパン、日本ラグビー協会、横浜F・マリノス、プロ野球4球団などが既に導入

2026年6月4日、東京 – プロスポーツやトップアスリート組織のための「スポーツ特化型運営プラットフォーム(The Operating System for Sports™)」として、世界7,000以上の組織から信頼されるTeamworks(チームワークス)は、日本への本格進出を正式に発表しました。同社は、米国NFL(アメフト)、EPL(プレミアリーグ)、NHL(アイスホッケー)の全チーム、NBA(バスケット)やMLB(メジャーリーグ)の87%のチーム、そして世界150以上のサッカークラブを顧客に持っています。

先月、TOYOTA ARENA TOKYO(トヨタアリーナ東京)にて日本初の国内イベントを開催。様々な競技分野から50名以上のスポーツ関係者が集まり、テクノロジー、データ、そしてデータ分析がスポーツの未来をいかに変えるかをテーマに、ネットワーキングと学びの場を提供しました。

今回の本格進出は、Teamworksのグローバル展開における重要な節目となります。日本市場においては、すでに多くの国内トップチームに先行導入していただいております。今回の正式上陸を機に、日本国内のサポート体制とサービスのローカライズをさらに強化してまいります。Teamworksは現在、侍ジャパン(野球日本代表プログラム)、一般社団法人

日本ラグビーフットボール協会(JRFU)、横浜F・マリノス(Jリーグ)、横浜DeNAベイスターズを含むNPB(日本プロ野球)4球団など、日本を代表するトップスポーツ団体とパートナーシップを結んでいます。

「日本への正式進出を心から嬉しく思います。日本のスポーツ界はデータ分析の導入に非常に意欲的であり、この市場において最も革新的な組織の皆様とともに、新たな可能性を切り拓いていけることを今から楽しみにしています」

— Simon Moore-Crouch (海外事業統括 最高責任者、Teamworks)

先月、東京で開催された製品ローンチ記念イベントには、様々な競技で活躍するスポーツ関係者が一堂に会しました。

スピーカーとして登壇したDan Cervone (Teamworks データサイエンス部門VP、Zelus Analytics共同創業者)は、データ活用で世界をリードする組織に共通する「成功へのプレイブック(実践戦略)」を紹介しました。その要点は、①すべてのデータ分析の基盤として「質の高いデータ」を確保すること、②過去のデータを振り返る分析から「未来の予測分析」へと移行すること、③データに基づく知見が実際のプレーや戦略に反映されるよう「組織内での信頼関係」を構築すること、の3点です。

もう一人のスピーカーであるLeonard Yang (Teamworks テクニカルプロダクトマネージャー)は、2026年ワールドベースボールクラシック(WBC)で侍ジャパンをサポートした具体的な事例を共有しました。Teamworksプラットフォームによる高度なデータ分析は、日本経済新聞が「陰の立役者」と称したように、準備と意思決定を全面的に支えました。

「Simon氏、Leonard氏、Dan氏の話聞く機会は、様々な競技の最新トレンドを学ぶ貴重なひとときでした。多様なスポーツ分野の方々と意見を交わし、交流できたことが大変新鮮でした」

— 能見 賢治氏 (侍ジャパンクラブマネージャー)

日本政府はデジタルトランスフォーメーション(DX)を国家スポーツ戦略の核心に位置づけ、トップアスリートの育成フレームワークにAIを統合する動きを進めています。Teamworksの主要製品である「Hub」「Coaching」「AMS」は日本語に対応しており、クラブ、リーグ、ナショナルチームのどのレベルの組織でも、すぐに活用できる体制が整っています。



「日本のスポーツ界は、まさにこの変化を受け入れる準備ができています。トヨタアリーナ東京での熱気は、私たちがかねてより確信していたことを裏付けました。日本のスポーツ組織は、データ革命が起きるのをただ待っているのではなく、それを自らリードするための最適なパートナーを積極的に探し求めているのです」

– Simon Moore-Crouch (海外事業統括 最高責任者、Teamworks)

Teamworksのチームは現在、テクノロジー基盤の見直しや競争優位性を高める新たな手段を模索するリーダーの皆様との面談のため、日本各地のプロスポーツチームおよびスポーツ組織を訪問しています。訪問期間中にTeamworksチームとのミーティングをご希望の方は、下記リンクよりお問い合わせください: <https://teamworks.com/contact/>

日本市場で提供される「Teamworks」製品ラインナップ

日本のスポーツ組織は、チーム運営や選手管理の各分野に特化した、以下のTeamworks製品群(スイート)をご利用いただけます。

Teamworks Coaching & Player Personnel

指導者の業務効率化、試合に向けた戦術準備、選手評価のための野球チーム向けツール。
teamworks.com/coaching

Teamworks AMS

選手のコンディション、練習負荷のモニタリング(監視)、心身の健康(ウェルビーイング)を一元管理する選手管理システム。
teamworks.com/ams

Teamworks Player ID

世界のサッカー界に向けた、データ主導型の選手発掘・スカウティング支援システム。透明性の高い予測型データを用いた選手評価が可能。
teamworks.com/player-id

Teamworks Hub

チーム内の連絡、スケジュール管理、各種手続き(業務プロセス)を一元化する、中心的な運営・コミュニケーション基盤。
teamworks.com/hub

Teamworks S&C

指導者とアスリートのためのS&C管理、トレーニングプログラムの配信、成果の記録(トラッキング)ツール。
teamworks.com/strength-conditioning

Teamworksについて

Teamworksは、プロスポーツおよびトップアスリート向けの運営プラットフォームとして、世界7,000以上の組織から信頼を得ています。同社は、企業向けSaaSソフトウェアと独自のデータ・高度なデータ分析技術を組み合わせることで、選手評価、試合戦略、パフォーマンス開発、そして日常のチーム運営を支えるインテリジェントな製品を提供しています。

業務効率化(ワークフロー)、映像、そして信頼性の高いデータソースを単一のAI駆動型プラットフォームへと統合することにより、Teamworksは現代のスポーツ組織における「技術基盤」と「意思決定の頭脳」の双方の役割を果たしています。

2026年4月、Teamworksはソフトウェア・サービス分野の有力投資家であるHg主導による大型成長投資を発表しました。今回の資金調達により、Teamworksの企業価値は15億米ドル超と評価されています。Teamworksは、NFLの全チーム(100%)、NHLの全チーム(100%)、プレミアリーグの全クラブ(100%)、MLBの90%のクラブ、NBAの87%のチーム、MLSの83%のクラブ、NCAAディビジョンIの99%の体育部、および24カ国65以上のオリンピック競技連盟にサービスを提供しています。

www.teamworks.com

即時公開

メディア問い合わせ先

Irina Juchimiuk Jaworski, マーケティングディレクター
ijaworski@teamworks.com